

# フットサルのルール

(すべてのルールを載せているわけではございません。よくあるケースをご紹介します)

## 1、キックオフ

キックオフは必ず前方に出さなければなりません

以上の事を守らない場合、もう一度やり直しになります。

直接ゴールへ入っても、得点にはなりません。

## 2、キックイン

- ボールをライン上に静止させて蹴る

- 軸足(蹴り足ではないほう)がラインを完全に超えてはならない  
(軸足がコート外にあるかラインにかかっていたらOKです)

- ボールを蹴れる状態から4秒以内に再開する

以上の事を守らないと相手ボールからのキックインで再開となります。

## 3、交代

交代時には交代ゾーンでの交代となります。

(ベンチ前に5m 枠の交代ゾーンがあります)

交代はレフリーに申し出る必要はありません。インプレー中でも交代できます。

また、交代時は中にいる選手が外に出てからベンチの選手が入らなければならない

## 4、キーパーへのバックパス

- キーパーは味方選手の足で出した意図的なパスを手で扱うことは出来ません
- キーパーからでたボール(スローでもキックでも)は相手選手がボールに触れない限りキーパーへは戻せません。

キーパーへ戻せる場合は、相手選手にボールを取られてから取返せばキーパーへのパスが認められます

ボールを相手に当てて外に出し、キックインからキーパーへパスが出せます

以上の事を守らないと、相手ボールの間接フリーキックからの再開となります

このことがペナルティーエリア内で起きた場合は、ボールが一番近いエリアライン上からの間接フリーキックとなります

## 5、ゴールクリアランス

ゴールクリアランスとはサッカーでいうゴールキックに相当するものですが、フットサルの場合、キーパーがボールを手で投げて再開します。

相手ゴール前まで投げてもOKです。

この時、キックからの再開はダメです。また、味方はエリア外でボールを受けなければなりません。

以上の事を守らないと、もう一度やり直しとなります

(ゴールクリアランスはアウトオブプレーの再開方法であって、インプレー中、キーパーはスローでもキックでもOKです)

## 6、スライディング

当施設での大会では選手の安全を考え、スライディングは禁止とさせていただいております。

スライディングがファールにならない場合を説明いたします。

- ①シュートされたボールをブロックするスライディング
- ②パスカットによるスライディング

## 7、たまに起こりうる事例

- キックインが誰にも触れずに直接相手ゴールに入ってしまった  
→ゴールとして認められません。相手のゴールクリアランスからの再開です。
- キックインが誰にも触れずに直接見方ゴールに入ってしまった  
→ゴールとして認められません。相手のコーナーキックからの再開です。
- ゴールクリアランスが誰にも触れずに直接相手ゴールに入ってしまった  
→ゴールとして認められません。相手のゴールクリアランスからの再開です。
- ゴールクリアランスが誰にも触れずに直接味方ゴールに入ってしまった  
→ゴールとして認められません。再度やり直しです。
- コーナーキックが誰にも触れずに直接相手ゴールに入ってしまった  
→ゴールです
- コーナーキックが誰にも触れずに直接味方ゴールに入ってしまった  
→ゴールとして認められません。相手側コーナキックからの再開です
- インプレー中、キーパーが投げたボールが誰にも触れずに直接相手ゴールに入ってしまった  
→ゴールとして認められません。相手ゴールクリアランスからの再開です。
- インプレー中、キーパーが蹴ったボールが誰にも触れずに直接相手ゴールに入ってしまった  
→ゴールです。